

2022年度
二松学舎大学
日本語・日本学特別プログラム

募 集 要 項



二松学舎大学

— 目 次 —

日本語・日本学特別プログラムの趣旨	・・・	P.3
二松学舎大学沿革	P.3
日本語・日本学特別プログラムの概要	・・・	P.3 ～ P.6
○履修可能な科目について		
○2022年度学年暦(予定)について		
○応募方法について		
○費用(授業料やその他の経費)について		
ビザ	P.7
保険	P.7
来日時の出迎えサービス	P.7
校舎	P.8
宿舎	P.9
キャンパスライフ	P.9
アルバイト(資格外活動)について	P.10
問い合わせ先	P.10

2022年度の実施における重要なお知らせ

新型コロナウイルスに伴うプログラム内容の変更について

日本への入国制限措置や国内におけるコロナウイルスの感染状況により、入国時期、開始時期、プログラムの内容、期間等は安全上の配慮から変更されることがありますことをご了承ください。

日本語・日本学特別プログラムの趣旨

日本語・日本学特別プログラムは、二松学舎大学の留学生向けのプログラムの一つで、文学部と国際交流センターが教育デザインした、日本語と日本文化を学ぶプログラムです。本学文学部と協定を結んだ海外の大学に在学している日本語や日本文化を専攻している学生が主な対象で、本学の九段キャンパス（東京都千代田区三番町）と柏キャンパス（千葉県柏市）にて一年間のカリキュラムが用意されています。留学生が、日本語能力を高めるとともに、日本文化や現代社会についての知識を手に入れ、国際人として活躍できる人材を養成することを目標としています。

二松学舎大学沿革

二松学舎大学は、1877（明治10）年10月10日、三島中洲が私邸で漢学塾を開いたことに始まります。明治維新によって、新しい時代の扉を開いた日本の未来を担うことができる、真に優れた人材を育てること、それが三島中洲の願いでした。

以来143年余、二松学舎大学は「育英」という建学精神のもと、学問への変わらぬ情熱と広く世間を見る目を育て、いつの時代にもその時代に即した優秀な人材を社会に送り続けています。

日本人のアイデンティティの確立を目指し、漢学塾「二松学舎」を設立した三島中洲。単なる知識だけではなく、実際に社会で役立つ、「実学」を尊ぶその精神は、時を超え、日本を支えた多くの卒業生等によって脈々と受け継がれています。

〔創立者〕三島中洲（1830～1919）

現在の岡山県倉敷生まれ。11歳から学問を志し、14歳で儒学者山田方谷の門に入り陽明学を学んだ。明治維新後、新政府の命により上京、新治裁判所長、大審院判事（現在の最高裁判所判事）を務めた。1877年、官を辞し「漢学塾二松学舎」を創設。多くの子弟を育成し、漢学・東洋学の発展に尽力した。のちに東京高等師範学校教授・東京帝国大学文科教授、東宮御用係、宮中顧問官を歴任した。

日本語・日本学特別プログラムの概要

日本語・日本学特別プログラムは、二松学舎大学と協定締結をしている大学に在籍する学生を対象にしており、日本の文化と日本語を学ぶことができる一年間の特別なプログラムです。高品質な学習プログラムと日本の首都、東京の大学での留学体験を通じて、現在の日本について深く理解することができます。

受講科目は、九段キャンパス、柏キャンパスとで開講されます。日本語講座と大学学部の授業を履修することができます。N1に合格している留学生および上級クラス受講を許可する推薦書を持っている留学生（上級クラス）は、日本人学部生と一緒に文学部の正規科目を受講できます。日本の大学院に進学を希望する学生向けの【進学指導コース】を無料で追加できます。本学の教授が出願する際の小論文の書き方など学修の個別指導を行います。

また、N1を所持していない留学生および日本語学習クラス受講を希望する留学生（日本語学習クラス）は、日本語学習プログラムと一部の大学学部授業を履修します。日本での生活を通じて日本語を重点的に学習するため日本語能力を向上させることができます。日本語学習クラスの学生は、春semester終了時に本学の国際交流センター長の推薦があれば秋semesterから上級クラスに編入し、文学部の正規科目を受講できます。

大学の授業以外にも、将来日本で就職を希望する学生には、日本企業のインターンシップ情報の提供、就職説明会や企業訪問を予定しています。日本語学習クラスは参加人数等の諸事情により開講されないことがあります。

○履修可能な科目について

N1 合格者と「推薦書②」のある上級クラスの学生には、文学部に開講する専門科目等についても、日本人の学部生と一緒に受講することができます。日本語学習クラスの学生は、主に日本語科目の履修となります（条件によっては、文学部の一般開講科目の聴講が認められる可能性もあります）。具体的な開講科目の詳細や時間割については、決定次第、お知らせいたします。

留学生の日本語能力に応じて上級、日本語学習 2 つのクラスに分かれ、それぞれのクラス科目を受講することになります。履修できる科目の数は、どのクラスも上限 10 科目までとなります。11 科目以上は、履修できません。

日本語の授業は、すべて半年間で 1 単位となります。1 年間留学した場合は、合計 20 単位取得となります。

表 1

クラス名	上級クラス	日本語学習クラス
履修できる科目	文学部 一般開講科目 ※指定された科目の中から、自分で履修する科目を選びます。 ※中級クラス用の日本語授業を履修してもよい。	日本語学習クラス用の 日本語授業 + 一部の学部科目
履修できる科目数	10 科目まで	10 科目まで

表 2 日本語学習クラス向けの日本語授業の時間割(予定)※諸事情により開講されないことがあります。

時限	月	火	水	木	金
1 限 (09:00~10:30)	日本語②中級 A・B (発展)計 2 単位	日本語③上級 IIIA・B (発展)計 2 単位	日本語①A・B (発展)計 2 単位	日本語③中級 A・B (発展)計 2 単位	指定された文学部の 授業 計 4 単位
2 限 (10:50~12:20)	日本語③上級 IIA・B (発展)計 2 単位	日本語④A・B (発展)計 2 単位	日本語②上級 A・B (発展)計 2 単位	日本語③上級 IA・B (発展)計 2 単位	

○2022年度学年暦(予定)について

日本の大学は、4月から授業が始まります。二松学舎大学は2学期制となっています。来日の日程や、来日後の具体的なスケジュールは、追ってお知らせします。参考として、授業期間等を以下に記載します。

実施期間：2022年4月から2023年2月です。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置の影響により、入国制限措置が2021年12月17日(金)までに解除されない場合は、本プログラムは中止となります。

[春Semester (1学期)] 4月11日～8月5日

授業期間： 4月11日～7月29日

試験期間： 7月14日～8月5日

夏期休暇： 8月6日～9月11日

[秋Semester (2学期)] 9月12日～2月14日

授業期間： 9月12日～1月21日

試験期間： 1月7日～1月28日

冬期休暇： 12月24日～1月6日

○応募方法について

1. 応募条件

原則、本学文学部との交換留学制度に関する協定を結んでいる大学の学部生（※協定大学によって、募集人数に定員があります）で、日本語能力試験N1またはN2合格者並びに同程度の日本語学習経験（600時間）のある者。

応募書類

- (1) 誓約書
- (2) JLPT（日本語能力試験）結果（日本語能力認定書と日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書の2通）
- (3) 所属大学での成績に関する証明書
- (4) 本プログラムに参加することの推薦書（※在籍大学教員の署名が必要です）
※以下のいずれかの推薦書を準備してください。
推薦書①：N1に合格している学生の推薦書となります。
推薦書②：N1にまだ合格していないが、本学の文学部授業を受講するだけの能力がある学生に、在籍大学教員がその能力を証明する資料です。
推薦書③：本学の文学部授業を履修するには日本語能力が不足しているため、日本語学習クラスが適正であると在籍大学教員が判断するもので。
- (5) 健康診断証明書
- (6) 写真（3cm × 4cm）※アップロード用の画像データ
- (7) パスポート ※アップロード用の画像データ
- (8) 志望理由書
※(1)誓約書、(4)推薦書、(5)健康診断証明書、(8)志望理由書は、申込サイト（2. 応募手続き参照）から所定の様式をダウンロードしてください。

2. 応募手続き

(1)～(8) の応募書類を準備の上、以下サイト内の申込サイトから応募してください。
サイト：www.nishogakusha-u.ac.jp/international/d2_1.html
申込サイトは上記ページ中ほどの「交換留学・特別プログラム」にあります。
「二松学舎大学のトップページ (www.nishogakusha-u.ac.jp) ▶留学・国際交流▶留学制度について海外から二松学舎へ▶交換留学・特別プログラム」からもアクセス可能。

3. 応募締切り

2021年12月17日(金)

※何らかの事情により、締切り日に間に合わない場合、在籍大学の教職員から本学へ、メールで連絡してください（メールアドレス：icenter1@nishogakusha-u.ac.jp）。

○費用(授業料やその他の経費)について

421,340 円 (授業料 420,000 円、学研災保険料 1,340 円)

2. 学費の支払方法

下記「3.払込期限」までに本学が指定する海外送金システム「ウエスタンユニオン」を利用して手続きしてください。「ウエスタンユニオン」の支払い方法は、別途ご案内します。

3. 払込期限

2022年3月10日(木)

4. その他の経費について

宿舍費、食費、通学にかかる交通費、国民健康保険料(※1)、携帯電話通信費、入国に必要な各種費用など日本で生活および入国するために必要な費用は、すべて自己負担となります。参考までに1年間の目安の金額を以下に記載します。

・ 宿舍費 (1名1室) :	約 700,000円 (※2)
・ 布団代 :	12,000円
・ 食費 :	約 480,000円 (←個人によって大きく異なります)
・ 携帯電話通信費 :	約 48,000円
・ 保険料 :	約 24,000円
・ 交通費 :	約 180,000円
・ その他 :	約 300,000円 (←入国時の自己隔離宿泊等の費用等)
合 計	約 170万円～180万円程度

(※1) 日本に3ヶ月以上滞在するすべての外国人は国民健康保険に加入しなければなりません。その保険料です。学研災保険料とは別の保険になります。

(※2) 宿舍費には、部屋代以外に、水道代、電気代、ガス代、Wi-Fi利用料もすべて含まれています。2022年4月1日から2023年2月28日までの11ヶ月分です。新型コロナウイルス感染症対策として、現在、相部屋での入居はできません。

上記以外に渡航にかかる費用(ビザ代、往復の航空券代等)、教科書代、授業で必要な学習道具代や学外研修に行く時にかかる交通費等が発生します。すべて自己負担となります。

ビザ

本特別プログラムに参加し、日本に入国するためには、「留学ビザ」の取得が必要となります。二松学舎大学国際交流センターの指示に従って、日本大使館または領事館において「留学ビザ」の取得申請を行ってください。

保険

留学生は、来日前に母国において、日本滞在中の病気や事故、損害を補償する損害保険健康保険、旅行保険に必ず加入してください。来日した後に、学研災保険および国民健康保険に加入するまでの間は、自己責任で前述の保険に加入してください。保険加入済みの確認ができない場合、本学への受入れを取り消す場合もあります。来日前に損害保険、健康保険、旅行保険などをご自身で加入手続きを行ってください。来日後、二松学舎大学の学研災保険、国民健康保険への加入手続きは国際交流センターがサポートします。

来日時の出迎えサービス

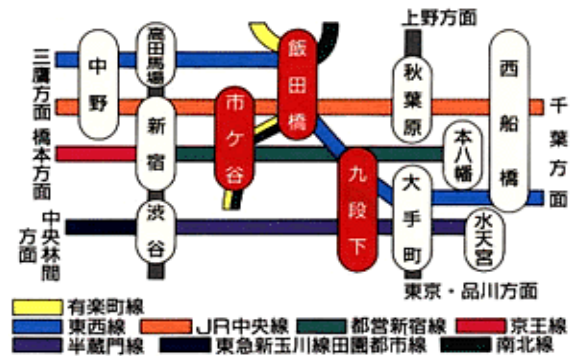
本学が指定した日程で成田空港に到着する学生は、無料で空港出迎えサービスが利用できます。無料のバスを手配しますので、そのバスで空港から宿舎まで移動することができます。このサービスの回数は、全部で2回です。指定した日程以外で来日する学生は、ご自身の手配で学生宿舎まで移動してください。指定日は、参加予定者に来日前に別途お知らせいたします。新型コロナウイルス感染症対策のため、入国後2週間程度の自己隔離措置の対応やワクチン接種等の適正な入国手続きを完了して、宿舎への入居となります。入国時に必要な自己隔離措置等にかかる費用はすべて学生の負担となります。

校舎

二松学舎大学キャンパス（九段・柏）へは下記の交通機関・アクセス情報をご利用ください。キャンパス所在地に関する詳細は、本学ホームページの **MAP&アクセス** (www.nishogakusha-u.ac.jp/about/campus/a7.html) をご確認ください。

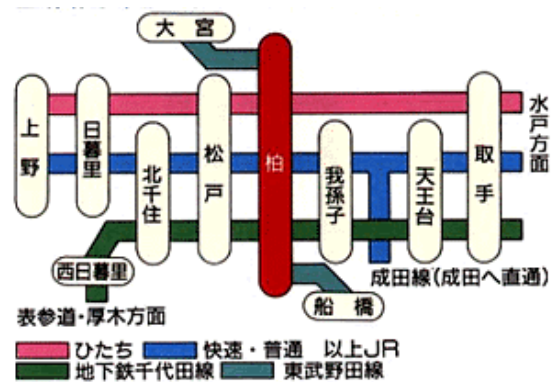
◆二松学舎大学 九段キャンパス 東京都千代田区三番町 6-16

地下鉄東西線・半蔵門線・都営新宿線「九段下」駅下車、2番出口より徒歩8分
 JR中央線（総武線）、地下鉄有楽町線、東西線、南北線「飯田橋」駅下車、徒歩15分
 JR中央線（総武線）、地下鉄有楽町線、南北線、都営新宿線「市ヶ谷」駅下車、徒歩15分



◆二松学舎大学 柏キャンパス 千葉県柏市大井 2590

JR常磐線、地下鉄千代田線、東武野田線「柏」駅下車
 東口の指定企業バス乗降場よりスクールバス15分



宿 舎

本学の日本人学生をはじめ、さまざまな国籍の他大学の学生、社会人との共同生活となります。宿舎では各種国際交流イベントが行われますので、日本語、英語、中国語ほか多数の言語を使用する機会が多くあり、また学外の学生や社会人との日常的な交流が可能となっております。

※宿舎費は来日する前に全額（11ヶ月分）支払います。途中帰国等により退室しても返金はありません。

【宿舎内の施設について】

光熱費、Wi-Fi利用費込。玄関オートロック、シャワー室（共同）、大浴場（共同）、トイレ（共同）、キッチン（共同）、冷蔵庫（共同）、洗濯機（共同）、電子レンジ（共同）、炊飯器（共同）、食器一式（共同）、自習室（共同）、布団、枕、シーツ、エアコン、Wi-Fi設備完備、乾燥機、勉強室、娯楽室あり。

※ すべての宿舎に共通する注意点 ※

- ◇本学が指定する宿舎以外での居住は禁止しております。ご了承ください。
- ◇宿舎費用は、来日する前に国際送金で振り込む必要があります。
- ◇宿舎費用は11ヶ月分(2022年4月1日ー2023年2月28日)を支払う必要があります。2月28日より前に退去した場合も11ヶ月分の宿舎費用が発生しますので、ご注意ください。
- ◇個人の都合による入居後の部屋の移動（変更）はできません。
- ◇毎月1回、指導教員および宿舎の管理人が、みなさんの居室内の備品確認や、生活をサポートします。エアコンの故障や、カギが壊れている等、学生寮の設備のトラブルや困ったこと等を確認して、すぐに修理対応等をおこないます。みなさんが安心して快適に生活できるようにしていますので、ご理解願います。
- ◇異性の部屋への入室は禁止です。男女同室での生活はできません。
- ◇居室内は禁煙です（喫煙は、宿舎内の「喫煙室」を利用してください）。

以上の宿舎の規則を守れない学生は、プログラムを途中で終了し、帰国勧告の対象となりますので、ご了承ください。宿舎には、本学の指導教員が居住していますので、何か生活で困ったことや、わからないことを相談することができます。

キャンパスライフ

1. 図書館（九段キャンパス・柏キャンパス）
本学の学生と同様に、図書の貸し出し、閲覧ができます。
2. 国際交流行事
国際交流センターでは、留学生が参加できる交流会や懇親会などを開催しています。
3. 通学定期券
二松学舎大学は、都心に位置する大学ですので、宿舎と大学は電車で移動（通学）となります。通学用の定期券を購入することが可能です。詳しくは、来日後のガイダンスで説明します。

アルバイト(資格外活動)について

本特別プログラムを受講する交換留学生についてはアルバイト(資格外活動)を一部許可しております。活動についての状況(勤務先など)を、アルバイトを行う前に、二松学舎大学に届け出る必要があります。

※今回の留学期間中に、アルバイトを行うことを考えている学生は、日本の成田空港に入国する時に、空港にて検査員に、「アルバイトを行う予定がありますので、在留カードに資格外活動許可をお願いします」と自分から申告してください。資格外活動許可は、日本に入国した後も取得することはできますが、とても複雑な手続きとなります。各自の必要に応じて、空港で入国手続きをする時に、申請してください。

問い合わせ先

日本語・日本学特別プログラムに関するお問い合わせは、みなさんが在籍する大学の交換留学担当者、または二松学舎大学の下記担当部署までお願いします。

二松学舎大学 国際交流センター
〒102-8336 東京都千代田区三番町 6-16
TEL. +81 (0)3 3261 5751
FAX. +81 (0)3 3222 5272
E-mail : icenter1@nishogakusha-u.ac.jp
Web : www.nishogakusha-u.ac.jp